

今年の仕事(令和元年度版)

武蔵村山市の家計簿



武蔵村山市

今年の仕事(令和元年度版)武蔵村山市の家計簿の発行に当たって

本市の令和元年度当初予算は、市税収入において、個人市民税における納税義務者数の増や家屋の新增築の増などにより、前年度当初予算に比較して増額を見込んでおりますが、介護や高齢者医療、障害者自立支援等に係る経費が今後とも増大する見込みであり、年度間の財源調整を行うために設置した財政調整基金を取り崩して予算編成を行う必要が生じるなど、第六次行政改革大綱において目標としている財政調整基金残高の「標準財政規模の10%以上」については、達成できておらず、他市との比較においても、十分とはいえません。



こうした状況の中、財政の健全性を堅持しつつ、安全・安心な社会基盤の構築や少子高齢社会への的確な対応を図るためには、施策の必要性、有効性等の検証による見直し・再構築や廃止を含めた施策の選択が不可欠となっています。

今後とも多摩都市モノレール延伸を見据えての都市基盤の整備を進めつつ、社会経済情勢の変化を的確に捉え、行政改革を更に推進し、自立的な財政基盤の確立を図り、「人と人との絆を大切にした信頼の市政」を着実に推進してまいります。

令和元年度の予算編成に当たっては、「第四次長期総合計画」を基本として、本市のあるべき将来都市像の実現に向けた中長期的な展望に立ったまちづくりを進めるため、国及び東京都の施策の方向性や予算の動向等を的確に把握し、市税等の自主財源の積極的な確保に努め、また、市民の期待に応える施策を推進するため、引き続き費用対効果、創意工夫の視点を持ち、市職員としての意識改革を徹底し、行政評価の結果等を施策に反映することにより、市民の視点に立った効果的かつ効率的なサービスを提供することを基本として編成いたしました。

このたび、令和元年度に市として取り組む仕事を分かりやすくまとめた「今年の仕事(令和元年度版)武蔵村山市の家計簿」を作成いたしました。

市民の皆様には、この家計簿を御覧いただき、市の財政やまちづくりについて関心を深めていただく一助としていただければ幸いです。

令和元年 5月

武蔵村山市長 藤野 勝

《 目 次 》

武蔵村山市の家計簿について …… 1～5

1 市民が自ら考え行動するまちづくり

地域コミュニティ	……	6
交流	……	6
市民参加と協働	……	6

2 安心していきいきと暮らせるまちづくり

防災対策	……	7
消防体制	……	8
交通安全	……	8
防犯対策	……	8
健康づくり	……	9
スポーツ・レクリエーション	……	9
医療・救急	……	10
社会保障制度	……	10
高齢者福祉	……	11
子ども・子育て支援	……	12～13
地域福祉	……	14
雇用	……	14

3 誰もが自分らしく成長できるまちづくり

男女共同参画	……	15
学校教育	……	15～16

4 快適で暮らしやすいまちづくり

モノレール・地域交通	……	17
道路	……	18～19
公園・緑地	……	19～20
下水道	……	20
都市づくり	……	21
地球温暖化対策	……	21
廃棄物処理とリサイクル	……	21

5 地域の資源を生かした特色あるまちづくり

農業	……	22
商・工業	……	22～23
観光	……	24

6 計画の推進に向けて

行政運営	……	25
財政運営	……	25
広域行政	……	25

7 ⑨実施計画事業以外の事業

・施設保全計画策定事業	……	26
・国際理解講座事業	……	26
・家庭ごみ有料化及び戸別収集 導入基礎調査事業	……	26

8 令和元年度予算について …… 27～32

武蔵村山市の家計簿について

本市は、将来都市像「人と緑が織りなす 夢ひろがる やさしいまち むさしむらやま」の実現に向けて、平成23年3月に策定した第四次長期総合計画（前期基本計画）に続き、基本構想の目標年度である令和2年度までの行政運営の目標や基本的な方針、主要施策等を明らかにした後期基本計画を策定しました。

この「武蔵村山市の家計簿」では、令和元年度予算に反映させた「第四次長期総合計画」事業について、予算書とは違い、具体的な場所や事業の様子の写真等を入力し、事業の内容、経費の内訳及び担当部署を記載してお知らせいたします。

各事業経費ごとに「財源内訳」表記し、どの財源によって事業が実施されているか把握できるようにしました。

- 【 市 】 市税や市の貯金である基金
- 【 国 】 国からの補助金
- 【 都 】 東京都からの補助金
- 【 借入金 】 市が事業の資金を調達するために借入れ(起債) を行ったもの

施策の体系

まちづくりの理念

- 地域が一体になって人を育み、守る、思いやりのあるまちづくり
- 恵まれた自然環境と都心近郊の利便性が感じられる、快適で暮らしやすいまちづくり
- 自然や文化、産業を生かし、地域の特性を生かした個性あるまちづくり
- 市民、事業者と市が協働し、みんなで考え、行動するまちづくり

将来都市像

人と緑が織りなす 夢ひろがる やさしいまち むさしむらやま

実現するための施策

1 市民が自ら考え行動するまちづくり

自治会や市民活動団体等の地域コミュニティ活動の活性化を推進するなど、市民一人一人が自分の役割を考え、行動できるまちづくりを進めていきます。

コミュニティ

1 地域コミュニティ

- (1) コミュニティ活動の支援
- (2) コミュニティ施設の整備・充実

2 交流

- (1) 市民相互の交流の促進
- (2) 国際交流の推進

パートナーシップ

1 情報共有

- (1) 広報・広聴活動の充実
- (2) 情報公開等の推進

2 市民参加と協働

- (1) 市民参加の機会の拡充
- (2) 市民と市の協働体制の整備
- (3) 地域連携の推進

2 安心していきいきと暮らせるまちづくり

生活基盤の強化、危機管理体制・医療・福祉の充実などにより、市民が安心して暮らすことのできるまちづくりを進めていきます。

安全・安心

1 防災対策

- (1) 防災対策の充実・強化
- (2) 防災まちづくりの推進
- (3) 防災意識の高揚
- (4) 治水事業の推進

2 消防体制

- (1) 火災の未然防止
- (2) 消防体制の充実

3 交通安全

- (1) 交通安全思想の普及啓発
- (2) 交通安全施設・環境の整備
- (3) 被害者の救済

4 防犯対策

- (1) 地域防犯活動の推進
- (2) 防犯環境の整備

健康・医療

1 健康づくり

- (1) 保健事業の充実
- (2) 健康づくり意識の高揚
- (3) 健康づくり事業の充実
- (4) 食育の推進
- (5) 心の健康づくり

2 スポーツ・レクリエーション

- (1) スポーツ・レクリエーション活動の充実
- (2) スポーツ・レクリエーション施設の整備

3 医療・救急

- (1) 地域医療体制の整備
- (2) 救急情報の活用
- (3) 救急体制の充実
- (4) 感染症予防対策の充実

4 社会保障制度

- (1) 国民健康保険
- (2) 後期高齢者医療制度
- (3) 国民年金

福祉

1 高齢者福祉

- (1) 介護保険サービスの充実
- (2) 高齢者福祉サービスの充実
- (3) 社会参加と就労促進

2 障害者福祉

- (1) 日常生活のための支援
- (2) 自立した社会生活のための支援
- (3) 社会的適応能力の養成
- (4) 社会参加と交流の促進

- 3 子ども・子育て支援
- (1) 子育て家庭の支援
 - (2) 幼児教育の充実
 - (3) 家庭教育の充実
 - (4) 子どもの居場所の確保
 - (5) ひとり親家庭の支援

- 4 生活支援
- (1) 生活保護の適正な実施
 - (2) 生活保護費（医療扶助）の抑制
 - (3) 相談体制の充実
 - (4) 自立支援の充実
 - (5) 子どもの貧困対策の推進

- 5 地域福祉
- (1) 地域ぐるみの福祉の推進
 - (2) 相談体制の充実
 - (3) 権利擁護体制の推進
 - (4) 福祉のまちづくりの推進
 - (5) 支援のための制度の周知等

暮らし

- 1 消費生活
- (1) 相談・情報提供活動の充実
 - (2) 消費者意識の啓発
 - (3) 多重債務者への支援

- 2 雇用
- (1) 雇用の促進
 - (2) 就労のための学習機会の充実
 - (3) 勤労者福祉の充実

3 誰もが自分らしく成長できるまちづくり

互いの人権を尊重し、豊かな心を持ち、個性を発揮する地域社会づくりを進めるとともに、自己の充実と生活の向上に向けた教育・学習機会の充実に努めます。

人権

- 1 人権・平和
- (1) 人権意識の高揚
 - (2) 人権相談の充実
 - (3) 権利擁護機関との連携強化
 - (4) 平和意識の醸成

- 2 男女共同参画
- (1) 男女平等意識の形成
 - (2) 男女共同参画の推進
 - (3) 女性の自立支援と働きやすい環境づくり
 - (4) 女性の健康と母性の保護

教育

- 1 学校教育
- (1) 教育環境の整備
 - (2) 社会の変化に対応した教育の推進
 - (3) 教育施設・設備の充実

- 2 生涯学習
- (1) 学習情報・学習機会の充実
 - (2) 推進体制の充実
 - (3) 生涯学習施設・設備の整備

- 3 青少年健全育成
- (1) 青少年の健全育成

4 快適で暮らしやすいまちづくり

安心して住み続けることができるよう、生活環境が整備された、快適で暮らしやすいまちづくりを進めていきます。

都市基盤

1 モノレール・地域交通 (1) 多摩都市モノレール延伸の促進 (2) 地域交通の充実	2 道路 (1) 幹線道路等の整備 (2) 生活道路の整備 (3) 道路環境の整備
3 公園・緑地 (1) 公園・緑地の整備及び維持管理 (2) 市民・事業者との協働	4 住宅・宅地 (1) 宅地の整備 (2) 公的住宅の整備 (3) 住環境の整備
5 下水道 (1) 下水道整備の推進 (2) 水洗化の完全普及 (3) 経営の安定化	6 都市づくり (1) 新青梅街道沿道まちづくり (2) 都市核・サブ核の整備 (3) 地域のまちづくり (4) 適正な土地利用の推進

環境

1 廃棄物処理とリサイクル (1) ごみの減量化とリサイクル (2) し尿処理	2 自然環境 (1) 狭山丘陵を中心としたみどりの保全
3 地球温暖化対策 (1) 地球温暖化の防止	4 公害対策・環境美化 (1) 水辺環境の保全 (2) 生活環境の保全 (3) 清潔で美しい環境づくり

5 地域の資源を生かした特色あるまちづくり

景観や歴史・文化といった地域の資源を生かした産業や観光の振興を図り、特色あるまちづくりを展開していきます。

産業

1 農業 (1) 農地の保全と生産基盤の整備 (2) 魅力ある農業経営の推進 (3) 時代のニーズに対応する農業の創造	2 商・工業 (1) 中小企業の体質強化 (2) 商業の振興 (3) 工業の振興
3 観光 (1) 観光まちづくりの推進 (2) 観光情報の発信	

景観

1 都市景観

- (1) 魅力あるまちなみ景観の形成

2 水とみどりのネットワーク

- (1) 歩道・自転車道の整備
- (2) 水辺空間の緑化

文化

1 市民文化

- (1) 芸術・文化の振興
- (2) 芸術・文化施設の整備

2 伝統文化・文化財

- (1) 文化財の調査・研究
- (2) 文化財の保護・活用
- (3) 歴史民俗資料館の整備・充実

6 計画の推進に向けて

効率的、効果的な行財政運営に努めます。

1 行政運営

- (1) 地方分権への対応
- (2) 計画行政の推進
- (3) 機能的な組織の形成
- (4) 人事管理の適正化
- (5) 職員の資質向上
- (6) 施策等の評価
- (7) ファシリティマネジメント等の推進
- (8) 民間活用の推進
- (9) 電子自治体の推進

2 財政運営

- (1) 適正な財政運営
- (2) 財政基盤の充実

3 広域行政

- (1) 一部事務組合の運営体制の強化等
- (2) 近隣自治体との連携

1 市民が自ら考え行動するまちづくり

地域コミュニティ

◇地域コミュニティ活性化事業・職員地域担当制
3万2千円

小学校通学区域を単位とする「地域みんなでまちづくり会議」により、地域の課題等を検証するとともに、地域担当職員の派遣を行います。

【経費】

・消耗品費 3万2千円
(財源 市 3万2千円)



<協働推進課協働推進係>



交流

◇ホストタウン推進事業

985万円

モンゴル国のホストタウンとして、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、モンゴル国との相互交流事業を実施します。

【経費】

・事業委託料 807万8千円
・その他経費 177万2千円
(財源 市 985万円)



<企画政策課企画政策係>



市民参加と協働

◇協働事業提案制度

137万9千円

協働事業提案制度に基づき採択された事業の経費の一部を補助し、協働事業の実施を支援します。

【協働型事業】

◆国際Fesと文化交流(協働推進課)

【団体育成型事業】

◆むさむら ゴミ減大作戦

【経費】

・委員謝礼 32万9千円
・補助金 105万円
(財源 市 137万9千円)

<協働推進課協働推進係>

【昨年度の協働事業の様子】



2 安心していきいきと暮らせるまちづくり

防災対策

◇土砂災害ハザードマップ作成事業 112万7千円

土砂災害警戒区域に指定された周辺地域の住民が避難場所まで安全に避難できるように、「土砂災害ハザードマップ」を作成します。

【経費】

・作成委託料 112万7千円
(財源 市 112万7千円)



<防災安全課災害対策係>

◇ブロック塀撤去工事等助成金交付事業 382万円

避難路を位置づけたのち、避難路等に面した倒壊の恐れがあるブロック塀の撤去等に対して、その工事費の一部を助成します。

【経費】

・助成金 382万円
(財源 国 86万円)
(財源 都 187万円)
(財源 市 109万円)



<防災安全課災害対策係>

◇まちづくり構想策定支援事業 2,439万4千円

(仮称)防災食育センター整備のための、まちづくり構想及び基本計画を策定します。

【経費】

・計画策定等委託料 2,439万4千円
(財源 国 2,195万4千円)
(財源 市 244万円)

<学校給食課学校給食センター>

◇雨水対策事業 800万円

吸込槽、浸透柵などの雨水排水施設を整備します。

【経費】

・工事請負費 800万円
(財源 都 800万円)



<道路下水道課維持補修係>

◇(主)53号線雨水対策事業 1,256万4千円

周辺地域の雨水対策として、雨水浸透施設を設置するための用地取得等を実施します。

【経費】

・鑑定委託料 17万3千円
・用地取得費 1,239万1千円
(財源 その他 1,230万円)
(財源 市 26万4千円)



<道路下水道課維持補修係>

◇防災士資格取得支援事業 31万5千円

共助の中核を担う自主防災組織の組織力向上のため、防災士資格取得のための講習会費用等を助成します。

【経費】

・助成金 31万5千円
(財源 市 31万5千円)



<防災安全課災害対策係>

消防体制

◇防火水槽整備事業

3,988万1千円

災害時に消防水利を確保するため、メッシュが不足する伊奈平地区に防火水槽を新たに整備します。

【経費】

- ・地質調査委託料 176万円
 - ・工事請負費 3,812万1千円
- (財源 国 2,500万円)
(財源 借入金 1,310万円)
(財源 市 178万1千円)



<防災安全課消防係>

◇消防団防火衣購入事業

1,110万5千円

消防団の装備品充実強化のため、防火衣の配備数を全団員分に拡充します。

【経費】

- ・消防品費 1,110万5千円
- (財源 都 1,110万5千円)



<防災安全課消防係>

交通安全

◇交通安全対策事業

1,000万円

通学路の危険箇所に路面のカラー舗装やガードパイプなどを整備します。

【経費】

- ・工事請負費 1,000万円
- (財源 その他 1,000万円)



<道路下水道課維持補修係>

◇街路灯LED化事業

846万円

市内街路灯のLED化に向け、劣化状況などの調査を実施します。

【経費】

- ・調査委託料 846万円
- (財源 市 846万円)

<道路下水道課維持補修係>

防犯対策

◇防犯灯設置事業

1,505万円

防犯機能の向上のため、防犯灯(LED照明)を順次設置します。

また、第八小学校南側の残堀川管理用通路にソーラー式LED防犯灯を整備します。

【経費】

- ・工事請負費 1,505万円
- (財源 都 1,370万円)
(財源 市 135万円)



<道路下水道課維持補修係>

◇青色パトロールカー更新事業

469万7千円

交通安全及び防犯対策パトロール用の青色パトロールカーを電気自動車に更新します。

【経費】

- ・自動車購入費 446万7千円
 - ・その他経費 23万円
- (財源 都 316万3千円)
(財源 その他 40万円)
(財源 市 113万4千円)

<防災安全課交通防犯係>

健康づくり

◇妊婦健康診査事業

4,148万2千円

妊産婦及び乳幼児の死亡率低下、障害発生の予防等を図るため、妊婦健康診査費(14回分)の公費助成を実施します。また、聴覚障害による音声言語発達等への影響を最小限にするため、新生児を対象に新生児聴覚検査を実施します。

【経費】

- ・健康診査委託料 3,652万7千円
- ・妊婦健康診査助成費 243万4千円
- ・新生児聴覚検査助成費 162万円
- ・その他経費 90万1千円

(財源 その他 3,200万円)

(財源 市 948万2千円)

<健康推進課母子保健係>



◇歯周疾患検診事業

219万円

歯の喪失の原因となる歯周疾患の予防を図るため、指定医療機関での個別検診として実施します。

【経費】

- ・歯科衛生士賃金 4万7千円
- ・検診委託料 201万5千円
- ・その他経費 12万8千円

(財源 都 135万8千円)

(財源 市 83万2千円)

<健康推進課健康係>



スポーツ・レクリエーション

◇総合型地域スポーツクラブ支援事業

60万円

市民による総合型地域スポーツクラブ「よってかっしゅクラブ」の運営を支援します。

【経費】

- ・運営補助金 60万円

(財源 市 60万円)

<スポーツ振興課スポーツ振興係>



◇ハンドボールフェスティバル運営事業

500万円

東久留米市との共同で開催している「ハンドボールフェスティバル」を、令和元年度は本市総合体育館で開催します。

【経費】

- ・運営業務委託料 500万円

(財源 その他 500万円)

<スポーツ振興課スポーツ振興係>



◇スポーツ少年団支援事業

37万円

青少年の健全育成を目的としたスポーツ少年団の運営を支援します。

【経費】

- ・補助金 37万円

(財源 市 37万円)

<スポーツ振興課スポーツ振興係>



◇総合運動公園運動場第1運動場防球ネット等増設事業

2,415万8千円

総合運動公園運動場の防球ネット増設、バックネット改修及び観覧席の整備並びにダッグアウトの新設工事を実施します。

【経費】

- ・工事請負費 2,415万8千円

(財源 その他 2,410万円)

(財源 市 5万8千円)

<スポーツ振興課スポーツ振興係>



医療・救急

◇休日診療等事業

2,591万7千円

日曜日、祝日とその準夜及び年末年始において、急病者を保健相談センターで診療します。
診療時間：午前9時30分～午後4時30分
午後6時～午後9時

【経費】

・休日急患診療委託料 1,570万6千円

・休日準夜急患診療委託料 1,021万1千円

(財源 都 566万6千円)

(財源 市 2,025万1千円)



<健康推進課健康係>

◇休日歯科診療事業

784万7千円

日曜日及び年末年始において、歯科急病者を市内の当番歯科医療機関で診療します。
診療時間：午前9時30分～午後4時30分

【経費】

・急患診療委託料 784万7千円

(財源 都 157万1千円)

(財源 市 627万6千円)



<健康推進課健康係>

社会保障制度

◇医療費適正化事業

903万9千円

レセプトデータ分析等により、生活習慣病予防事業等を実施します。

【経費】

・業務委託料 903万9千円

(財源 都 900万円)

(財源 市 3万9千円)



<保険年金課医療費適正化係>

◇特定健康診査未受診者受診勧奨事業

416万2千円

特定健康診査の過去の受診結果等を分析して作成する個別通知により、受診勧奨を行います。

【経費】

・業務委託料 304万7千円

・郵便料 111万5千円

(財源 都 300万円)

(財源 市 116万2千円)

<保険年金課医療費適正化係>

◇人間ドック等助成事業(国民健康保険)

500万円

40歳以上の国民健康保険被保険者に対し、人間ドック及び脳ドックの費用の一部を助成します。

【経費】

・受診料助成金 500万円

(財源 市 500万円)

<保険年金課医療費適正化係>

◇人間ドック等助成事業(後期高齢者医療)

100万円

後期高齢者医療被保険者に対し、人間ドック及び脳ドックの費用の一部を助成します。

【経費】

・受診料助成金 100万円

(財源 その他 20万3千円)

(財源 市 79万7千円)

<保険年金課医療費適正化係>

高齢者福祉

◇老人福祉施設整備費助成事業

955万3千円

特別養護老人ホームの建設費に対して、その費用の一部を助成します。

【経費】

・施設整備費補助金 **955万3千円**
(財源 市 955万3千円)

<高齢福祉課管理係>

◇在宅医療・介護連携推進事業

1,079万9千円

地域の高齢者が住み慣れた地域で必要な支援を受けながら生活ができる地域包括ケアシステム構築に資するため、在宅医療・介護連携支援センターの運営等を実施します。

【経費】

・運営委託料 **940万円**
・その他経費 **139万9千円**
(財源 国 440万2千円)
(財源 都 207万9千円)
(財源 その他 224万円)
(財源 市 207万8千円)



<高齢福祉課高齢者支援係>

◇生活支援体制整備事業

550万円

生活支援コーディネーターの配置等により、生活支援サービスの担い手やサービスの開発等を行い、高齢者の社会参加及び生活支援を推進します。

【経費】

・運営委託料 **550万円**
(財源 都 275万円)
(財源 市 275万円)



<高齢福祉課地域包括ケア係>

◇高齢者見守り相談室運営事業

1,729万4千円

相談体制を充実させ、高齢者の孤立の防止や生活の安心を確保します。

【経費】

・事業委託料 **1,729万4千円**
(財源 都 598万6千円)
(財源 市 1,130万8千円)



<高齢福祉課地域包括ケア係>

◇認知症施策推進事業

485万3千円

認知症の方やその疑いのある方、その家族に対して早期に支援するための認知症初期集中支援チームの派遣、認知症カフェの支援及び認知症に係る普及啓発事業を実施します。

【経費】

・委託料 **436万5千円**
・その他経費 **48万8千円**
(財源 国 197万8千円)
(財源 都 93万4千円)
(財源 その他 100万6千円)
(財源 市 93万5千円)



<高齢福祉課地域包括ケア係>

子ども・子育て支援

◇出産・子育て応援事業

842万円

母子健康手帳を交付する際に、保健師が全数面接を実施し、妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない支援を行います。

【経費】

・保健師等賃金 141万4千円

・贈呈品等その他経費 700万6千円

(財源 国 89万7千円)

(財源 都 712万4千円)

(財源 市 39万9千円)



<健康推進課母子保健係>

◇病児・病後児保育事業

988万8千円

専用の保育室で、病期中又は回復期にある生後6か月から小学校3年生までの児童を武蔵村山病院で一時的に預かります。

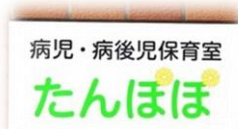
【経費】

・運営委託料 988万8千円

(財源 国 329万6千円)

(財源 都 592万3千円)

(財源 市 66万9千円)



<子育て支援課子育て支援係>

◇子どもショートステイ事業

304万5千円

保護者が病気などの理由により、家庭で児童を養育できない場合、一時的に児童を預かります。

【経費】

・事業委託料 304万5千円

(財源 国 7万8千円)

(財源 都 121万3千円)

(財源 市 175万4千円)



<子育て支援課子育て支援係>

◇子どもカフェ運営事業

474万3千円

乳幼児とその保護者が気軽に集い交流を図る場の確保及び運営の充実を図ります。

【経費】

・運営事業委託料 474万3千円

(財源 都 237万1千円)

(財源 市 237万2千円)



<子育て支援課子育て支援係>

◇巡回指導・相談事業

153万5千円

相談員が保育所等を訪問し、児童の行動観察等を通じて、専門的見地から保育方針等についての助言・相談などを行う事業を実施します。

【経費】

・相談員謝礼 153万5千円

(財源 都 153万5千円)



<子ども育成課保育係>

◇児童館親子ひろば事業

183万1千円

乳幼児とその保護者を対象に、安全な遊び場の提供及び子育てに関する不安感等の緩和を図るため、児童館での交流、サークル活動等を支援します。

【経費】

・事業委託料 183万1千円

(財源 都 91万5千円)

(財源 市 91万6千円)

<子ども育成課児童館>

◇認証保育所等利用者負担軽減補助事業
57万6千円

認証保育所等の利用者負担を軽減するため、その保育料の一部を補助します。

【経費】

・負担軽減補助金 57万6千円

(財源 都 28万8千円)

(財源 市 28万8千円)

<子ども育成課保育係>



◇保育力強化補助事業
177万6千円

障害やアレルギーを持つ児童の保育など、多様な保育ニーズに対応する認証保育所に対し、その事業に要する費用の一部を補助します。

【経費】

・強化事業補助金 177万6千円

(財源 都 177万6千円)

<子ども育成課保育係>

◇子どもの医療費助成事業(乳幼児分)
1億3,797万8千円

小学校就学前までの子どもが医療機関で受診したときの保険診療自己負担分について、その費用を助成します。

【経費】

・審査支払手数料 730万4千円

・医療費助成費 1億3,000万1千円

・その他経費 67万3千円

(財源 都 6,575万8千円)

(財源 市 7,222万円)

<子育て支援課手当・医療係>



◇子どもの医療費助成事業(学齢児童分)
1億6,284万6千円

小学生から中学生までの子どもが医療機関で受診したときの保険診療自己負担分について、その費用の一部を助成します(通院1診療ごとの自己負担は200円)。

【経費】

・審査支払手数料 607万4千円

・医療費助成費 1億5,599万9千円

・その他経費 77万3千円

(財源 都 1億6,207万2千円)

(財源 市 77万4千円)

<子育て支援課手当・医療係>

◇放課後子ども総合プラン事業
3,496万1千円

小学校の余裕教室等を活用し、地域の方々の参画を得て、放課後に子どもたちの安全で健やかな居場所づくりのための事業を行います。

【経費】

・謝礼 2,298万5千円

・事業委託料 1,096万9千円

・その他経費 100万7千円

(財源 都 1,702万4千円)

(財源 市 1,793万7千円)

<文化振興課生涯学習係>

【放課後子供教室】



地域福祉

◇生活困窮者及び被保護者就労準備支援等事業
693万4千円

生活困窮者及び生活保護受給者に対し、就労意欲の喚起や一般就労に従事する準備段階の支援を実施します。

【経費】

・事業委託料 693万4千円
(財源 国 462万円)
(財源 市 231万4千円)

<地域福祉課市民なやみごと相談係・生活福祉課経理・医療係>

◇権利擁護推進事業

1.656万円

認知症高齢者などが成年後見制度を利用する際の支援や、福祉サービスの相談窓口を設置します。

【経費】

・事業委託料 1.656万円
(財源 都 699万7千円)
(財源 市 956万3千円)

<地域福祉課地域福祉係>

雇用

◇地域人材確保・育成支援事業

561万6千円

主に女性在職者や、結婚・育児等で離職中の再就職を希望する方にとって、働きやすい職場となるよう、地域の企業等の経営者及び在職者等を対象に各種研修や啓発等の事業を実施します。

【経費】

・事業委託料 561万6千円
(財源 都 561万6千円)

<産業振興課商工係>

[昨年度のキャリア講座の様子]



広報キャラクター
Mジロ

3 誰もが自分らしく成長できるまちづくり

男女共同参画

◇男女共同参画推進事業

54万9千円

男女共同参画推進市民委員会を中心として、男女平等・男女共同参画に係る施策を推進します。

【経費】

・委員謝礼 42万4千円

・その他経費 12万5千円

(財源 市 54万9千円)

<協働推進課協働推進係>

【男女共同参画センター「ゆーあい」】



学校教育

◇特別支援教室設置事業

228万円

特別な支援が必要な児童・生徒へ、個々の教育的ニーズに合った支援を推進するため、平成28年度からの5年間で、全小・中学校に特別支援教室を設置します(令和元年度:第一、第五中学校)。

【経費】

・工事請負費 160万円

・その他経費 68万円

(財源 都 200万円)

(財源 市 28万円)

<教育指導課教育支援係>

◇適応指導教室機能強化モデル事業

462万5千円

適応指導教室を拠点とし、学習・登校支援員が不登校状態にある児童・生徒宅を訪問し、学校復帰に向けた登校支援を行います。また、ペアレントプログラム講座を開催し、保護者への支援を充実します。

【経費】

・支援員謝礼等 244万8千円

・事業委託料 207万5千円

・その他経費 10万2千円

(財源 都 462万5千円)

<教育指導課教育支援係>

◇英語検定事業

170万1千円

中学校3年生の希望者を対象に英語検定を実施します。

【経費】

・英語検定委託料 170万1千円

(財源 市 170万1千円)



<教育指導課指導係>

◇補助教員派遣事業

657万9千円

全小学校へ教員免許を有する補助教員1名を派遣します。

【経費】

・補助教員謝礼 657万9千円

(財源 市 657万9千円)



<教育指導課教職員係>

◇地域未来塾事業

213万5千円

家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていない児童・生徒を対象に、地域住民等の協力により学習支援を実施します。

【経費】

- ・支援員謝礼 208万円
- ・その他経費 5万5千円

(財源 都 142万3千円)

(財源 市 71万2千円)

<文化振興課生涯学習係>

◇部活動支援事業

965万7千円

全中学校の部活動に指導員を派遣し、技術面や戦術面の指導等を行います。

【経費】

- ・嘱託員報酬 235万2千円
- ・指導員謝礼 728万円
- ・その他経費 2万5千円

(財源 都 156万8千円)

(財源 市 808万9千円)

<教育指導課指導係>



◇学校司書配置事業

1,337万8千円

全小・中学校に学校司書を週4日配置して、図書整備や読書活動を推進します。

【経費】

- ・報酬 1,337万8千円

(財源 その他 1,000万円)

(財源 市 337万8千円)

<教育指導課教職員係>



【第一中学校】



◇小学校教育用コンピュータ等入替事業

1,350万円

全小学校の教育用コンピュータを入替えます。

【経費】

- ・借上料 1,350万円

(財源 市 1,350万円)

<教育総務課教育政策係>

◇中学校教育用コンピュータ等入替事業

1,417万円

全中学校の教育用コンピュータを入替えます。

【経費】

- ・借上料 1,417万円

(財源 市 1,417万円)

<教育総務課教育政策係>

◇校舎及び屋内運動場窓枠等建具改修事業

2億5,030万円

校舎及び屋内運動場の窓枠等建具改修工事を行います(第三中学校・大南学園第四中学校)。

【経費】

- ・工事監理委託料 860万円
- ・工事請負費 2億4,170万円

(財源 国 2億3,462万1千円)

(財源 都 121万9千円)

(財源 市 1,446万円)

<教育総務課教育施設係>



◇社会科副読本作成事業

285万2千円

学習指導要領の改訂に合わせ、小学校3・4年生が使用する、社会科副読本「わたしたちの武蔵村山市」を改訂します。

【経費】

- ・作成委託料 285万2千円

(財源 市 285万2千円)

<教育指導課指導係>

4 快適で暮らしやすいまちづくり

モ/レール・地域交通

◇多摩都市モ/レール基金事業 **1億140万円**

多摩都市モ/レールの延伸の際に必要な出資金や公共施設整備などの経費に充てるため、10年間で10億円を目標に積み立てます。

【経費】

・基金積立金 **1億140万円**

(財源 その他 140万円)

(財源 市 1億円)



<交通企画・モ/レール推進課>

◇多摩都市モ/レール延伸促進事業及び関連調査事業 **583万3千円**

多摩都市モ/レールの早期延伸整備の実現に向けた促進活動を行います。

【経費】

・作製委託料 **35万2千円**

・調査委託料 **500万円**

・その他経費 **48万1千円**

(財源 都 267万6千円)

(財源 市 315万7千円)



<交通企画・モ/レール推進課>

◇「モ/レールを呼ぼう！市民の会」交付金交付事業 **150万円**

市民が主体となり促進活動を行う「モ/レールを呼ぼう！市民の会」に対し、経費の一部を補助します。

【経費】

・交付金 **150万円**

(財源 都 75万円)

(財源 市 75万円)



<交通企画・モ/レール推進課>

◇市内循環バス運行経費補助事業 **1億3,315万6千円**

市内循環バス(MMシャトル)の運行経費を補助します。

【経費】

・補助金 **1億3,315万6千円**

(財源 都 4,400万円)

(財源 市 8,915万6千円)



<交通企画・モ/レール推進課>

◇市内循環バス車両購入経費補助事業 **2,175万2千円**

市内循環バス(MMシャトル)の車両購入経費を補助します。

【経費】

・補助金 **2,175万2千円**

(財源 市 2,175万2千円)



<交通企画・モ/レール推進課>

◇乗合タクシー運行事業 **771万8千円**

市南西地域を対象に、自宅と市内の主要な公共施設(13か所)を結ぶ乗合タクシー「おらたく」を運行します。

【経費】

・運行業務委託料 **771万8千円**

(財源 その他 79万9千円)

(財源 市 691万9千円)



<交通企画・モ/レール推進課>

道路

◇立川都市計画道路3・4・39号線整備事業 3,747万1千円

【立川都市計画道路3・4・39号武蔵砂川駅複線】

交通量の更なる増加等が見込まれることから、交通の円滑化や歩行者等の安全性の向上を図り、市施行の土地区画整理事業の整備効果を最大限に発揮させるため、道路拡幅整備に向けて用地測量・事業認可取得業務等を行います。

【経費】

・業務委託料 3,731万5千円

・その他経費 15万6千円

(財源 都 2,815万6千円)

(財源 市 931万5千円)

<都市計画課計画係>



◇(主)12号線拡幅整備事業 1億1,359万2千円

【主要市道第12号線】

主要市道第12号線(伊奈平五丁目1番地先から六丁目38番地先)の道路拡幅整備を行うため、道路用地の取得等を行います。

【経費】

・用地取得費 2,413万円

・物件補償費 8,438万1千円

・その他経費 508万1千円

(財源 都 5,000万円)

(財源 市 6,359万2千円)

<道路下水道課工事係>



◇(主)14号線整備事業 7,200万4千円

【主要市道第14号線】

主要市道第14号線(伊奈平一丁目26番地先から36番地先)の舗装打換工事を行います。

【経費】

・工事請負費 7,200万4千円

(財源 都 1,728万円)

(財源 借入金 5,470万円)

(財源 市 2万4千円)

<道路下水道課維持補修係>



◇市道隅切等整備事業

240万円

見通しの悪い市道交差点の隅切り整備を行います。

【経費】

・委託料 110万円

・用地取得費 130万円

(財源 市 240万円)

<道路下水道課管理係>



◇既設道路整備事業

4,500万円

市道の路面補修等が必要な箇所について、部分的補修工事を行います。

【経費】

・工事請負費 4,500万円

(財源 その他 4,500万円)

<道路下水道課維持補修係>



◇不要市道・水路等廃道検討事業

746万3千円

市内の不要市道等の普通財産化や売却に向けた調査及び検討を行います。

【経費】

・調査委託料 746万3千円

(財源 市 746万3千円)

<道路下水道課管理係>

◇神明橋拡幅整備事業

5,800万円

東京都の施工により、平成29年度から3か年計画で、現在の橋梁幅員を5.46mから10mへ拡幅する工事を行います。

【経費】

・工事負担金 5,800万円

(財源 都 5,800万円)

<道路下水道課維持補修係>

【神明橋拡幅整備】



公園・緑地

◇都市公園施設改修事業

3,178万7千円

公園長寿命化計画に基づく都市公園施設の更新や遊具などの改修を行います。

【経費】

・工事請負費 3,178万7千円

(財源 国 1,540万4千円)

(財源 借入金 1,638万3千円)

<環境課公園緑地係>



◇都市公園等トイレ洋式化事業

388万1千円

都市公園、児童遊園、地域運動場及び運動広場のトイレ洋式化工事を行います。

【経費】

・工事請負費 388万1千円

(財源 都 258万7千円)

(財源 市 129万4千円)

<環境課公園緑地係>



◇樹林等の保全事業

194万9千円

緑豊かなまちづくりのため、樹林・樹木・生け垣
に対して奨励金を交付します。

【経費】

- ・保存樹林奨励金 15万円
- ・保存樹木奨励金 50万円
- ・生け垣奨励金 129万9千円
- (財源 その他 194万9千円)

<環境課公園緑地係>

【保存生け垣】



下水道

◇公共汚水樹設置事業

800万円

公共下水道の汚水樹を市内20か所に設置する
工事を行います。

【経費】

- ・工事請負費 800万円
- (財源 その他 362万7千円)
- (財源 市 437万3千円)



<道路下水道課工事係>

◇管渠(きょ)改良事業

7,016万3千円

都道162号線(三ツ木交差点)拡幅工事等に伴
う公共下水道の管渠改良工事を行います。

【経費】

- ・工事請負費 7,016万3千円
- (財源 借入金 5,230万円)
- (財源 その他 1,486万3千円)
- (財源 市 300万円)

<道路下水道課工事係>

◇雨水浸透施設等設置補助事業

88万8千円

雨水浸透施設及び雨水貯留槽の設置に係る費
用の一部を補助します。

【経費】

- ・補助金 88万8千円
- (財源 市 88万8千円)

<道路下水道課下水道係>

「雨水浸透施設及び雨水貯留槽イメージ図」



都市づくり

◇都市核地区土地区画整理事業

13億8,412万3千円

新青梅街道の拡幅用地の確保など、榎・本町地区で約30.9haの区画整理事業を行っています。

【経費】

- ・区画整理事業委託料 12億5,988万円
 - ・水道施設整備負担金 1億1,405万7千円
 - ・その他経費 1,018万6千円
- (財源 国 2億9,000万円)
 (財源 都 1億9,275万円)
 (財源 借入金 5,000万円)
 (財源 市 8億5,137万3千円)

<区画整理課区画整理係>

【都市核地区土地区画整理事業の計画図】



◇地籍調査事業

4,072万4千円

市内の筆ごとの土地の所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地積に関する測量を行います。

【経費】

- ・調査事業委託料 3,772万4千円
 - ・埋設業務委託料 300万円
- (財源 都 2,829万3千円)
 (財源 市 1,243万1千円)



<道路下水道課管理係>

地球温暖化対策

◇急速充電器設置事業

1,500万円

市役所市民駐車場に電気自動車用の急速充電器を設置します。

【経費】

- ・工事請負費 1,500万円
- (財源 都 1,390万円)
 (財源 その他 110万円)



<総務契約課総務係>

廃棄物処理とリサイクル

◇廃棄物資源分別事業

1億2,324万5千円

資源の再利用やごみの減量化を図るため、資源として収集されたごみの中からペットボトル、紙類、金属類などを選別し、資源化処理を実施します。

【経費】

- ・分別処理委託料 1億2,324万5千円
- (財源 その他 4,431万1千円)
 (財源 市 7,893万4千円)

<ごみ対策課ごみ対策係>

◇生ごみ処理容器「ミニ・キエーロ」モニター事業

70万3千円

家庭から排出される生ごみの減量効果の検証、減量に対する意識啓発を図るため、生ごみを微生物等により分解する処理容器「ミニ・キエーロ」を配布し、モニター事業を実施します。

【経費】

- ・消耗品費 63万3千円
 - ・郵便料 7万円
- (財源 その他 63万3千円)
 (財源 市 7万円)

<ごみ対策課減量推進係>

5 地域の資源を生かした特色あるまちづくり

農業

◇都市農地保全支援プロジェクト事業

267万1千円

多面的機能を持つ都市農地の保全及び都市農業の振興を図るため、農業者に対し、支援を行います。

【経費】

・補助金 267万1千円
 (財源 都 229万円)
 (財源 市 38万1千円)



<産業振興課農政係>

【防風ネット】



商・工業

◇創業支援事業

155万4千円

創業塾や個別相談などにより、創業希望者等の支援を行います。

【経費】

・業務委託料 155万4千円
 (財源 その他 5万円)
 (財源 市 150万4千円)



<産業振興課商工係>

◇安心安全・エコ住宅等改修助成事業

810万5千円

木造住宅の耐震診断及び耐震改修等、新エネルギー利用機器の設置、エコ及びバリアフリー住宅化への改修費用の一部を補助します。

【経費】

・補助金 810万5千円
 (財源 市 810万5千円)



<産業振興課商工係>

◇商店街振興事業

776万円

商工会が実施する商業振興事業と商店会が実施するイベント事業に要する費用の一部を補助します。

【経費】

・商工会商業振興事業補助金 200万円
 ・商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金 576万円

(財源 都 308万2千円)
 (財源 市 467万8千円)

<産業振興課商工係>

◇武蔵村山地域ブランド創造活動事業

130万円

武蔵村山市の魅力ある商品を「武蔵村山地域ブランド」として認証し、その経費の一部を補助します。

【経費】

・補助金 130万円
(財源 市 130万円)



<産業振興課商工係>

【武蔵村山地域ブランド認証品】 ※問合せについては産業振興課商工係まで(内線227)



- ①製茶組合店の「東京狭山茶」
- ②アイス工房ヴェルデの「自家製アイスクリーム」
- ③比留間豆腐店の「こまつな豆腐君」
- ④もりのこむぎの「村山お茶食パン」
- ⑤田舎屋の「手作り村山ゆでまんじゅう」
- ⑥村山うどんの会の会員店の「村山かてうどん」
- ⑦ケーキ工房ラ・ブームの「村山げんこつシュー」
- ⑧のぞみ福祉園の「手づくり村山さんクッキー」
- ⑨手作り郷土料理の店翔の「翔の手作り狭山茶だんご」
- ⑩ANNE・KANDYの「むさし村山四季彩シフォン」
- ⑪シャトー洋菓子店の「むらやまロール」

観光

◇緑が丘地区暫定管理事業

1,977万1千円

緑が丘地区の空地(約3.7ha)に「ひまわりガーデン武蔵村山」を開園し、ひまわり開花時に一般開放するとともに、「ひまわり」をテーマとしたフォトコンテストや絵画展などを開催します。

また、緑肥として栽培している菜の花がきれいなことから、春の時期には「菜の花ガーデン武蔵村山」として開園しています。

【経費】

・入賞者贈呈品等 7万7千円

・管理委託料等 1,883万5千円

・トイレ等借上料 49万3千円

・その他経費 36万6千円

(財源 その他 105万円)

(財源 市 1,872万1千円)

<観光課観光係>

【ひまわりガーデン武蔵村山】



【菜の花ガーデン武蔵村山】



◇観光納涼花火大会助成事業

650万円

武蔵村山市商工会が実施する「観光納涼花火大会」に対して助成します。

【経費】

・交付金 650万円

(財源 市 650万円)

<観光課観光係>



◇市民まつい推進事業

1,500万円

活力にあふれたにぎわいのあるまちを目指して、市と市民まつい実行委員会主催で「第14回村山デエダラまつい」を開催します。

【経費】

・交付金 1,500万円

(財源 市 1,500万円)

<観光課観光係>



◇魅力づくり推進事業

200万円

武蔵村山市内に存在する地域資源を生かし、本市ならではの体験を提供し、体験した人が情報発信する仕組みを構築します。

【経費】

・支援事業委託料 200万円

(財源 国 100万円)

(財源 都 50万円)

(財源 市 50万円)

<観光課観光係>

6 計画の推進に向けて

行政運営

◇市制施行50周年記念事業

137万5千円

市制50周年を機とした市勢要覧(記念誌)発行の準備を進めていきます。

【経費】

・委託料 137万5千円
(財源 市 137万5千円)

<秘書広報課広報広聴係>

◇市民総合センター空調設備改修事業

943万1千円

市民総合センターの空調整備の室外機・室内機等の交換をリース方式で実施します。

【経費】

・空調設備借上料 943万1千円
(財源 市 943万1千円)

<障害福祉課業務係>

財政運営

◇地方税共通納税システム導入事業

156万6千円

国が構築している地方税における電子納税システム(地方税共通納税システム)を導入します。

【経費】

・委託料 156万6千円
(財源 市 156万6千円)

<収納課管理係>

【市民総合センター】



広域行政

◇広域連携推進事業

384万円

昭島市、東大和市、瑞穂町及び長野県栄村と連携し、「子ども雪国体験事業」を実施します。

【経費】

・交付金 384万円
(財源 その他 384万円)



<企画政策課企画政策係>

【栄村駅伝大会】



7 ③1 実施計画事業以外の事業

◇施設保全計画策定事業

1,659万5千円

公共施設等総合管理計画の改定等を行うため、市内公共施設の劣化状況調査等を行います。

【経費】

・委託料 1,659万5千円
 (財源 市 1,659万5千円)



<施設課施設係>

◇国際理解講座事業

2万4千円

多文化共生推進事業職員協力員の養成や国際理解講座等を実施します。

【経費】

・講師謝礼 2万4千円
 (財源 市 2万4千円)

<協働推進課協働推進係>

◇家庭ごみ有料化及び戸別収集導入

基礎調査事業 244万6千円

制度の導入に向け、市民の意見や課題を制度に反映するため、市民アンケートを実施します。

【経費】

・委託料 244万6千円
 (財源 市 244万6千円)

<ごみ対策課減量推進係>



武蔵村山PRキャラクター
むむちゃん

8 令和元年度予算について

予算とは？

一会計年度の収入と支出をあらかじめ見積もることをいいます。
市長が予算案を議会へ提出し、市議会での審議後に議決によって決定されます。

一般会計予算と特別会計予算とは？

一般会計予算とは、福祉などの行政サービスを行うための会計予算をいいます。

特別会計予算とは、特定の事業などを対象とした会計予算をいい、本市の場合、5つの会計があります。

一般会計の予算額は？

令和元年度一般会計予算額は、
277億5,833万4千円 です。

特別会計の予算額は？

令和元年度特別会計予算総額は、
175億1,362万9千円 です。

国民健康保険事業特別会計	79億7,271万7千円
下水道事業特別会計	12億7,908万3千円
介護保険特別会計	48億1,636万 円
都市核地区土地地区画整理事業特別会計	19億1,380万8千円
後期高齢者医療特別会計	15億3,166万1千円
計	175億1,362万9千円
一般会計と特別会計の総額	452億7,196万3千円

武蔵村山市の財政を家計簿に例えてみると・・・

※令和元年度一般会計予算額を1万分の1とした場合

◇◆収入の部◆◇

①給与収入 ※1	102万4,848円
②その他収入 ※2	7万8,340円
③ローンの借入 ※3	10万6,107円
④貯金の取崩し ※4	10万 826円
⑤親からの仕送り ※5	141万5,712円
⑥前年からの繰越し ※6	5万円

合計 277万5,833円

◇◆支出の部◆◇

①食費 ※1	40万6,402円
②医療費 ※2	108万5,420円
③ローンの返済 ※3	12万6,305円
④光熱水費・日用品費 ※4	39万 575円
⑤家族への仕送り ※5	63万6,179円
⑥家の増改築・修繕 ※6	11万 115円
⑦預貯金等 ※7	2万 837円

合計 277万5,833円

◇◆収入の部◆◇

- ※1 市税
- ※2 分担金・負担金・使用料・手数料・財産収入・寄附金・諸収入
- ※3 市債
- ※4 繰入金
- ※5 国・都支出金・地方譲与税・利子割交付金・配当割交付金・株式等譲渡所得割交付金
地方消費税交付金・自動車取得税交付金・国有提供施設等所在市町村助成交付金
地方特例交付金・地方交付税・交通安全対策特別交付金
- ※6 繰越金

◇◆支出の部◆◇

- ※1 人件費
- ※2 扶助費
- ※3 公債費
- ※4 物件費
- ※5 特別会計への繰出金・補助費等
- ※6 普通建設事業費・維持補修費
- ※7 積立金・貸付金・予備費

令和元年度当初予算総額調書

単位：千円

区分 番号	会 計 別	令和元年度 当初予算額	平成30年度 当初予算額	前年度比較	
				金 額	比 率 (%)
1	一般会計	27,758,334	27,242,163	516,171	1.9
2	国民健康保険事業特別会計	7,972,717	8,295,902	△323,185	△ 3.9
3	下水道事業特別会計	1,279,083	1,242,170	36,913	3.0
4	介護保険特別会計	4,816,360	4,931,316	△114,956	△ 2.3
5	都市核地区土地区画整理事業特別会計	1,913,808	1,700,707	213,101	12.5
6	後期高齢者医療特別会計	1,531,661	1,457,628	74,033	5.1
合計		45,271,963	44,869,886	402,077	0.9

当初予算額の推移

(1) 全会計

単位：千円

区分 番号	会 計 別	年 度 別						
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
1	一般会計	27,350,405	26,486,920	26,783,346	27,516,544	27,242,163	27,758,334	
2	国民健康保険事業特別会計	9,479,890	10,702,496	10,642,909	10,118,982	8,295,902	7,972,717	
3	下水道事業特別会計	1,186,243	1,181,293	1,191,313	1,243,078	1,242,170	1,279,083	
4	介護保険特別会計	4,283,010	4,313,899	4,334,025	4,309,362	4,931,316	4,816,360	
5	都市核地区土地区画整理事業特別会計	1,127,322	1,212,063	1,500,674	1,932,150	1,700,707	1,913,808	
6	後期高齢者医療特別会計	1,075,463	1,180,469	1,248,284	1,326,524	1,457,628	1,531,661	
合計		44,502,333	45,077,140	45,700,551	46,446,640	44,869,886	45,271,963	
合計の前年度比較		金額	1,518,891	574,807	623,411	746,089	△ 1,576,754	402,077
		比率	3.5%	1.3%	1.4%	1.6%	△ 3.4%	0.9%

(2) 一般会計

単位：千円

区 分 項 目		年 度 別					
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算額		27,350,405	26,486,920	26,783,346	27,516,544	27,242,163	27,758,334
前年度 比較	金額	881,858	△ 863,485	296,426	733,198	△ 274,381	516,171
	比率	3.3%	△ 3.2%	1.1%	2.7%	△ 1.0%	1.9%

財政分析指数等の調書

(1) 当初予算（一般会計ベース）

区分 番号	年 度	分 析 指 数					
		公債費負担比率	財政力指数	経常収支比率	自主財源比率	義務的経費比率	投資的経費比率
1	平成29年度	7.2	0.83	97.5	44.8	57.7	5.0
2	平成30年度	7.3	0.84	97.7	45.0	58.6	4.6
3	令和元年度	7.3	0.83	97.2	45.2	58.2	3.4

(2) 決算（普通会計ベース）

区分 番号	年 度	分 析 指 数					
		公債費負担比率	財政力指数	経常収支比率	自主財源比率	義務的経費比率	投資的経費比率
1	平成27年度	6.5	0.810	92.0	45.2	55.1	6.4
2	平成28年度	6.9	0.824	95.2	44.5	55.4	7.5
3	平成29年度	6.8	0.835	94.1	43.2	55.1	8.9

※公債費負担比率の分母は、一般財源の総額である。

※経常収支比率の分母は、経常一般財源等に臨時財政対策債を加えたものである。

【参考】財政分析指数について

①**公債費負担比率**（令和元年度当初予算7.3%（一般会計ベース） 平成29年度決算6.8%（普通会計ベース））
一般財源のうち、どのくらい公債費に充当しているか測定する指標で、この指標が低ければ財政運営に弾力性があり、政策的に使えるお金が多くなります。一般的には、15%が警戒ラインで、20%が危険ラインとされています。

②**財政力指数**（令和元年度当初予算0.83（一般会計ベース） 平成29年度決算0.835（普通会計ベース））

基準財政収入額を基準財政需要額で割ったもので、1以上は普通交付税の不交付団体となります。地方公共団体の財政力を見る指数であり、この指数が高いほど、財政が豊かであるといわれ、普通は3か年平均の数値を使用します。

③**経常収支比率**（令和元年度当初予算97.2%（一般会計ベース） 平成29年度決算94.1%（普通会計ベース））

経常経費充当一般財源（人件費、扶助費、公債費などの毎年経常的に支出される特定の財源をもたない経費）を経常一般財源（毎年経常的に収入される一般財源）で割ったものです。低いほど臨時的な経費（投資的経費など）にまわす財源を確保できることになり、高いほど経常的な経費が財政を圧迫して、財政構造の弾力性が低いということになります。市では75%～80%ぐらいがよいといわれています。

本市の数値は、近年高止まりしており、人件費、公債費は下がっているものの、扶助費、繰出金の伸びが大きく、比率を引き上げる要因となっています。

④**自主財源比率**（令和元年度当初予算45.2%（一般会計ベース） 平成29年度決算43.2%（普通会計ベース））

地方公共団体が自主的に収入する財源（市税・分担金及び負担金・使用料及び手数料・財産収入・寄附金・繰入金・繰越金・諸収入がこれに該当します。）の歳入総額に占める割合をいいます。

⑤**義務的経費比率**（令和元年度当初予算58.2%（一般会計ベース） 平成29年度決算55.1%（普通会計ベース））

地方公共団体の歳出のうち、任意に節減できない極めて硬直性の強い経費（人件費、扶助費、公債費）が一般（普通）会計予算総額に占める割合をいいます。

⑥**投資的経費比率**（令和元年度当初予算3.4%（一般会計ベース） 平成29年度決算8.9%（普通会計ベース））

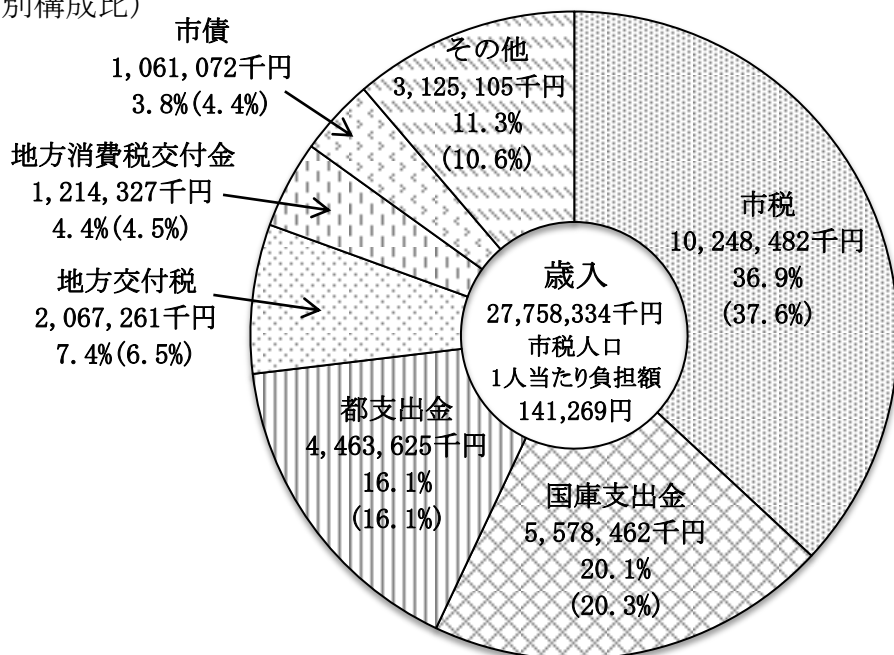
支出の効果が資本形成に向けられ、道路や施設など将来に残るものに支出される経費（普通建設事業費、災害復旧事業費、失業対策事業費）が一般（普通）会計予算総額に占める割合をいいます。

一般会計歳入調書

(1) 歳入総括表

区 分 款	令和元年度		平成30年度		前年度比較	
	当初予算額 千円	構成比 %	当初予算額 千円	構成比 %	増減額 千円	増減率 %
1 市 税	10,248,482	36.9	10,237,127	37.6	11,355	0.1
2 地方譲与税	121,103	0.4	130,496	0.5	△9,393	△7.2
3 利子割交付金	12,625	0.1	11,521	0.1	1,104	9.6
4 配当割交付金	64,314	0.2	55,381	0.2	8,933	16.1
5 株式等譲渡所得割交付金	41,155	0.2	38,336	0.1	2,819	7.4
6 地方消費税交付金	1,214,327	4.4	1,228,481	4.5	△14,154	△1.2
7 自動車取得税交付金	47,217	0.2	73,139	0.3	△25,922	△35.4
8 国有提供施設等所在市町村助成交付金	459,194	1.6	464,802	1.7	△5,608	△1.2
9 地方特例交付金	77,709	0.3	60,772	0.2	16,937	27.9
10 地方交付税	2,067,261	7.4	1,781,721	6.5	285,540	16.0
11 交通安全対策特別交付金	10,123	0.0	10,731	0.1	△608	△5.7
12 分担金及び負担金	246,078	0.9	309,214	1.1	△63,136	△20.4
13 使用料及び手数料	248,454	0.9	247,756	0.9	698	0.3
14 国庫支出金	5,578,462	20.1	5,537,940	20.3	40,522	0.7
15 都支出金	4,463,625	16.1	4,393,387	16.1	70,238	1.6
16 財産収入	15,494	0.1	15,434	0.1	60	0.4
17 寄附金	6,916	0.0	6,157	0.0	759	12.3
18 繰入金	1,008,262	3.6	667,014	2.5	341,248	51.2
19 繰越金	500,000	1.8	500,000	1.8	0	0.0
20 諸収入	266,461	1.0	278,454	1.0	△11,993	△4.3
21 市 債	1,061,072	3.8	1,194,300	4.4	△133,228	△11.2
歳 入 合 計	27,758,334	100.0	27,242,163	100.0	516,171	1.9

(性質別構成比)



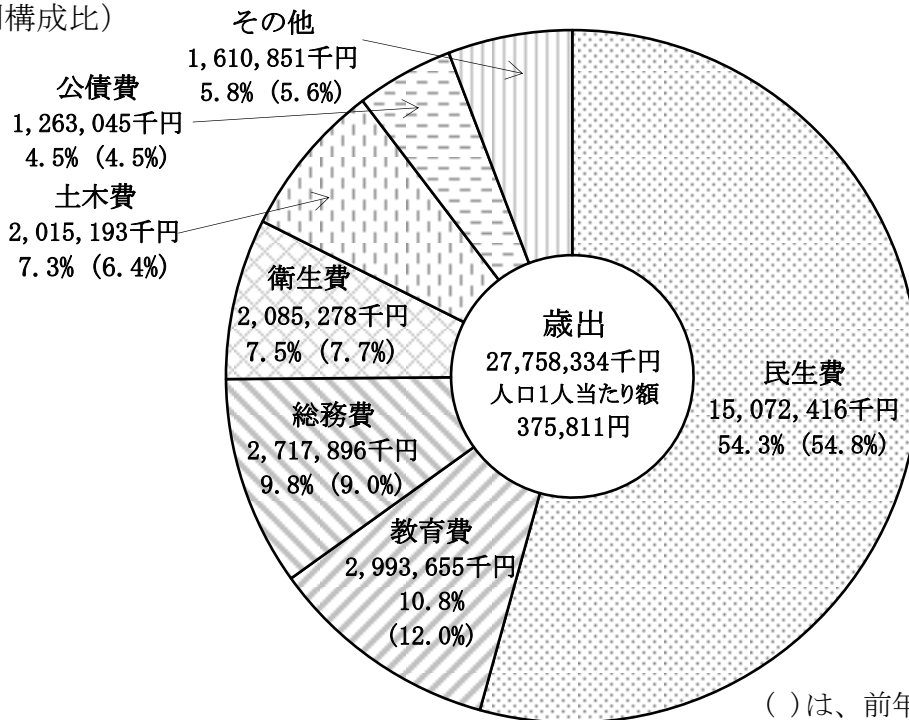
()は、前年度構成比
基準人口：72,546人
(平成31年1月1日現在)

一般会計歳出調書

(1) 歳出総括表

区 分 款	令和元年度		平成30年度		前年度比較	
	当初予算額 千円	構成比 %	当初予算額 千円	構成比 %	増減額 千円	増減率 %
1 議会費	273,143	1.0	273,244	1.0	△ 101	0.0
2 総務費	2,717,896	9.8	2,458,028	9.0	259,868	10.6
3 民生費	15,072,416	54.3	14,932,574	54.8	139,842	0.9
4 衛生費	2,085,278	7.5	2,088,253	7.7	△ 2,975	△0.1
5 農業費	38,496	0.1	61,017	0.2	△ 22,521	△36.9
6 商工費	216,760	0.8	215,987	0.8	773	0.4
7 土木費	2,015,193	7.3	1,735,516	6.4	279,677	16.1
8 消防費	1,062,452	3.8	957,604	3.5	104,848	10.9
9 教育費	2,993,655	10.8	3,266,124	12.0	△ 272,469	△8.3
10 公債費	1,263,045	4.5	1,233,816	4.5	29,229	2.4
11 予備費	20,000	0.1	20,000	0.1	0	0.0
歳出合計	27,758,334	100.0	27,242,163	100.0	516,171	1.9

(目的別構成比)



()は、前年度構成比
基準人口：72,546人
(平成31年1月1日現在)

【参考】目的別経費の内容について

項目	内 容
1 議会費	議会の活動のための経費です。
2 総務費	人事、企画、財政、徴税、戸籍、統計、交通安全などの事業のための経費です。
3 民生費	障害者福祉、児童福祉、高齢者福祉、生活保護などの事業のための経費です。
4 衛生費	成人老人保健、母子保健、廃棄物処理、公害対策などの事業のための経費です。
5 農業費	農業振興の事業のための経費です。
6 商工費	商工業振興、観光振興などの事業のための経費です。
7 土木費	道路、公園、都市計画、市営住宅などの事業のための経費です。
8 消防費	火災や災害から市民の生命・財産を守る事業のための経費です。
9 教育費	学校教育、生涯学習、スポーツ振興などの事業のための経費です。
10 公債費	市債（借金）を返済する元利償還金（元金と利子）などの経費です。
11 予備費	不測の事態や緊急の場合などに充てるための経費です。

武蔵村山市の家計簿

発行年月／令和元年5月

発行／武蔵村山市

編集／武蔵村山市企画財務部財政課

〒208-8501

東京都武蔵村山市本町一丁目1番地の1

042(565)1111(代表) 内線362